

No.617

法音

令和3年
3月号

— 今月のご法話 —

日頃の行いがすべて

日蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう

今日一日、
笑顔で人に接しましょう

今日一日、
ほめ合って暮らしましょう

今日一日、
一善を積みましよう

月刊・法音 令和3年3月号 No.617 目次

【信仰の指針】積ほ小し為う大だい 続けることが何より大事です 1

【朝のこない夜はない】

日頃の行いがすべて 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 15

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 16

◆ 法音寺動画更新のお知らせ 18

◆ 仏教説話・小さな功德の行方 19

◆ お題目写経ご協力のお願い 27

◆ 知っているようで知らなかった!?法音寺のこと⑮ 28

◆ お寺の本棚 32

◆ のりのね体験 34

◆ 支院だより 37

◆ 福祉のひろば 51

○ 幸せのお手伝い 52

○ 昭徳会・「お店屋さんごっこ」 54

○ 日本福祉大学社会福祉学部・認知療養プロジェクトオンラインで活動展開 56

◆ 賛助員ご芳名 58

◆ 幸せの種まき／編集後記 60

◆ 連載まんが・ひまわり・98 ありがとうが言えない 61

◆ 法音寺物語 61

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 61

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書 表紙写真・梅の花

掲載写真 表紙・信仰の指針・3～15頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

せき
しょう
い
だい

積小為大

続けることが

何より大事です

日教五



紫モクレン



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

日頃の行いがすべて

年の始めにはお寺や神社に詣でておみくじを引かれた方も多と思います。おみくじが一般的になったのは江戸時代です。元来、くじは「神の意思を問う」という非常に厳粛なものでした。国の政治など重要なことを決める時には必ず神の意思を問うためにくじを引いたそうです。また、昔の人々はどうしても決めかねることがあると「神さまに聞こう」ということでくじを作って引いたそうです。

ある雑誌にこんな話が載っていました。

Aさん一家が正月に家でくつろいでいると、小学5年の娘さんが年末のうちに焼いておいたクッキーを出し



てきて「クッキーの中なかにおみくじがはい入っているから、みんなよく選えらんでね」と言いいます。フォーチュンクッキーです。まずおじいちゃんさいしよが最初にクッキーを食たべておみくじを見みると「大吉だいきち」でした。「良よいことがたくさんあります」と書かいてあったので、おじいちゃんは大喜おわまこびでした。おばあちゃんもまた「大吉だいきち」でした。「一年ねんを元げん気に過すごせます」と書かいてありました。お父とうさん、お母かあさんと順番じゆんばんに引ひいていくと、全員ぜんいん「大吉だいきち」で、良よいことばかりが書かいてありました。娘むすめさんは「みんな、大吉だいきちで良よかったね」と満足まんぞくそうに言いったという話はなしでした。

こんなくじは良よいですね。家族かぞくだんらん団欒だんらんの様よう子が目めに浮うかびます。

明治めいじ神宮しんぐうのおみくじも他所よそとは違ちがいます。明治めいじ神宮しんぐうでは吉凶ききゆうを占うらう「おみくじ」ではなく、「大御心おほみこころ」と言いい



ます。おみくじを引くと御祭神である明治天皇の御製と
昭憲皇太后の御歌が書かれているからです。多くの御製、
御歌の中から特に人倫道德の指針となる教訓的なものが
十五首ずつ、合計三十首が選ばれています。

明治天皇の御製を一つ紹介いたします。
〓思ふこと おほかる中に をりをりは

なぐさむることも ある世なりけり〓

(とてもつらい出来事や思いを抱えていても、希望や
未来は必ず見えてくるものです)

コロナ禍の指針とさせていたいただきたいものです。

余談ですが、日本で最も古い校歌として知られるお茶
の水女子大学の校歌「みがかずば」は昭憲皇太后の御歌
です。前身である東京女子師範学校の開校にあたり明治
8年に下賜されたものです。



ゞみがかずば 玉もかがみも なにかせん

学びの道も かくこそ ありけれゞ

(玉も鏡も磨かなければ何もならない。学業も同じです)

お茶の水女子大学の校歌は附属校もすべて共通ということだそうですので、悠仁さまもお歌いになられていることと思います。

年の始めには、誰しも 今年こそはゞ という思いをもつて始められたことがあると思います。

かつて「東洋の聖者」と呼ばれた新渡戸稲造博士が『修養』の中で言われています。

「発心は易く、継続は難し、決心の継続こそが大事を成す基である」

確かに決心することは簡単ですが、それを継続するの



はとてもむずかしいことです。

新渡戸博士は「孟母断機の教え」を説かれています。

孟子は孔子と並び称される中国の聖人です。孟子のお母さんは孟子を勉強のために遠くに留学させますが、孟子はお母さんに会いたくして、学問を終える前に家に帰ってきてしまいました。その時、お母さんは機を織っていました。お母さんは孟子に「もう学問を終えたのかね」と聞きました。すると「いや、まだ十分ではありません。母君に会いたくして帰ってまいりました」と言うと、お母さんはいきなり自分が織っていた織物をハサミで真っ二つに切ってしまいました。「何をされるんですか」と孟子が驚いて言うと、お母さんは「お前が学問を途中でやめて帰ってくるということは、機を途中で断ち切るのと同じだよ。今までの努力が全部無駄になるのだよ」と涙を流して説き聞かせたのです。



新渡戸博士はこの話をとても気に入っておられました。自分の境遇に引き当ててこの話を受け止められたのだと思います。

新渡戸博士の家はお父さんが早くに亡くなり、母子家庭でした。お母さんの教育方針で、9歳の時から盛岡の親元を離れ上京して勉学に励まれました。「お母さまに会いたい」とたびたび手紙を書かれたそうです。しかし、そのたびにお母さんは「まだ帰ってきては駄目です。しっかりと勉強して学業を終えてから帰ってきなさい」と、いつも励ましの手紙を送っていました。そして、15歳で札幌農学校（現在の北海道大学）に入り、学年で一番の成績を修めて、褒美をもらって十年ぶりに得意になって帰郷した時、お母さんはその数日前に亡くなっていたのです。

新渡戸博士は少年時代にもらったお母さんからの手紙



をすべてつなぎ合わせて巻紙にし、命日がくることに泣きながら読まれていたそうです。

新渡戸博士は『修養』の中で決心の継続のコツをいろいろ説かれています。《一事に通ずれば万事に適用される》という一説があります。

「例えば草を取るにしろ、ご飯を食べるにしろ、本物になりさえすれば必ずそれが他のさまざまなことに及ぶ。『舞うも歌うも法のうち』と言うが、法の無いものがあるだろうか。法とは原則の意味で原則は共通するものらしい。いわゆる物の極意というものはすべてに共通するようだ。だから、志を立てたなら一心に邁進し、中止せずたゆまず行こう。障害が現れてもこれを排除し、倒れたにしても起き上がってまた進む。そうすれば最終的に極意に達する。一事の極意に達しさえすれば、ほかの諸芸



にも通達できるのだ」

また「人によって違うが、僕は継続心を修養するには、ことさらにえらいこと、むずかしきことを選んで継続するのは良くないことであろうと思う。最初からえらいことをやろうとすると、失敗に終わることが多かろうと感ぜられる」と言っておられます。全くその通りだと思いません。えらいことをやろうとすると続かないものです。「もっとも非凡の人はあるいはこれを継続するかもしれないが、普通の人はたやすいことで、ただ少し嫌というくらいのことを選んで継続心を鍛錬すると良い」として、「毎日日記をつける」「散歩をする」「朝早く起床する」「先祖の命日に必ず墓参りをする」等が例として示されています。

女優で落語家の三林京子さんのエッセーに興味深いこ



とが書いてありました。

三林さんは大阪芸術大学短期大学の教授を長年務められ、演劇の身体表現の指導をされました。そこで学生に正しい姿勢や、基本となる挨拶から教えられたといいます。当初、みんな本当に姿勢が悪かったそうです。

演劇をやるうという学生が悪い姿勢ではいけない」と、まず姿勢から正そうとしたのですが、学生達は自分の姿勢が悪いことに気づいていませんでした。三林さんは勉強をして、骨格レベルから分析し、立っている時の足の母指球や座った時の座骨がどうなるのかを説明して、どの骨と筋肉をどう使ったら正しい姿勢になるかを指導しました。その結果、丸まって存在感のなかった学生がすっと伸びて美しい立ち姿になり、鏡に映ったその姿を見て感激していたと言います。

三林さんはNHKの児童劇団員時代に、「姿勢が良い」



とほめられたことがありました。小学校1・2年生の時の担任の先生が厳しい先生で、ちよつとでも姿勢が悪いと竹のものさしを背中に入れられ、絶対に背中を曲げられなかったそうです。また、ちよつとでも机に肘をつこうものならピシャツと叩かれました。今なら体罰と言われるかもしれませんが、それで姿勢が良くなったと今ではとても感謝しておられます。三林さんは学生を叩くことはしませんでした。教えていくことでどんどん姿勢が良くなっていききました。そして、姿勢が良くなったところでお辞儀の仕方と挨拶を教えられました。

入学式の後少し経ってから、新入生が門から入る時にあるセレモニーをしました。上級生が「学長」「学科長」「学食のおばちゃん」「掃除のおじさん」等と書かれた役名のカードを持って立っているのです。「新入生は門から入ってきて、挨拶をしなさい」と三林さんは言うの



です。その役名を見ながら新入生達の多くは「うっす」
「おはよう」「おはようございます」等々、挨拶の仕方
を変えたのです。

それを三林さんは叱りました。

「なぜ相手の役職によって挨拶を変えるのですか」

ある女子学生は泣いてしまったそうです。しかし、新
入生達は、どんな人に対しても同じ姿勢で、同じ言葉で
挨拶をしなければいけない、と気づいてみんな変わって
いったそうです。中には卒業してオーディションを受け
た時に挨拶をしただけで「君は挨拶が良い。合格」と言
われた学生が何人もいたそうです。

三林さんはジャニー喜多川さんの話をしておられます。
ジャニーさんは才能のある子を見つけてスターに育て上
げる名伯楽でした。ジャニーさんはオーディションの時、
わざと清掃員の格好をして会場の廊下を掃除していたそ



うです。自分に対してどういう態度をとるか、どういう挨拶をするか、普段の立ち居振る舞いや言動を見ていたのだそうです。

三林さんは言われます。「人間は日頃の行いがすべてで、それ以上のことを人前でなかなかできるものではありません。掃除のおじさんに声をかける人は普段からそうしている人です。毎日の挨拶がしっかりできる人は名前もすぐに憶えてもらえますし、初対面で心を通わせる時間が短くても人からの信頼度が自ずと高くなるものです」

『法音』読者の皆さんも、それぞれ今年の目標なり、決心されたことがあると思いますが、そんなにむずかしいことを考えずに、挨拶をしつかりするというような、身近なことを継続されると良いかもしれませんね。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。
是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

上野支院	3月1日(月)	関支院	3月3日(水)
佐屋支院	3月4日(木)	坂支院	3月13日(土)
福岡支院	3月14日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乘山泰明寺	5日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・14日・27日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市長崎4-7-13	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・14日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・13日・21日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・21日	郡上市八幡町小野7-21-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3-4-75	☎(0595)21-0127

☎連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	7日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	7日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)4210175
岡山支院	7日・9日・21日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)26210818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・21日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	13日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)6215087
安芸津支院	6日・21日・28日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)4514012
坂支院	13日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・14日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)4415445
筑後布教所	14日・28日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)5317273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)5810742
田川支院	14日・21日	田川市春日町7-30	☎(0947)4211819
名古屋地区	7日・17日・20日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)8516860
亀岡布教所	8日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)2517807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

 YouTube 法音寺チャンネル更新!

【一緒におつとめ】

3本収録



◀ 唱題行 (10分間)

10分間の唱題行を収録いたしました。
ご一緒に南無妙法蓮華経とお唱えください。

御開山泰山院日進上人御遺訓▶ 朝夕の唱え

御開山泰山院日進上人(鈴木修学上人)の御遺訓を収録いたしました。
朝・夕、一日の始まりと終わりにお唱えください。



◀ 朝夕のおつとめ

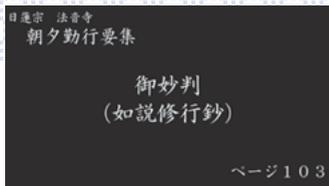
最も基本のお勤め内容をお収録いたしました。
ご自宅でのお参り、お経練習等、ご自由にお使いください。



【日蓮宗法音寺 朝夕勤行要集】

12本収録

※音声のみ



- ・奉請
- ・自我偈
- ・宝塔偈
- ・勧請
- ・御妙判(如説修行鈔)
- ・回向
- ・開経偈
- ・唱題
- ・四誓
- ・方便品
- ・運想
- ・奉送

日蓮宗 大乗山法音寺公式

 YouTube チャンネルからご覧ください

<https://www.youtube.com/user/houonjimovie> →



ぶつぎょうせつね
仏教説話

ちい く どく ゆく え
小さな功德の行方







こんな話が
あります…



人は生まれ変わり
死に変わりしても
魂に因縁をそなえて
いるのです

私達が持っている因縁は
必ず悪いことも
悪いことも引き継いで
いかなければ
なりません



どうぞ
お受け取りください

世尊 私はあなたに
差し上げたいものが
ございます



昔釈尊が祇園精舎で
説法されていた時
ある男が前へ進み出て…

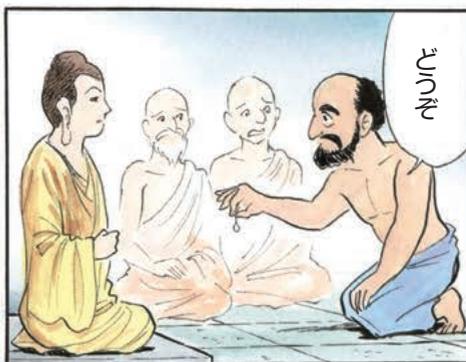


この毛端に
ついた水滴です

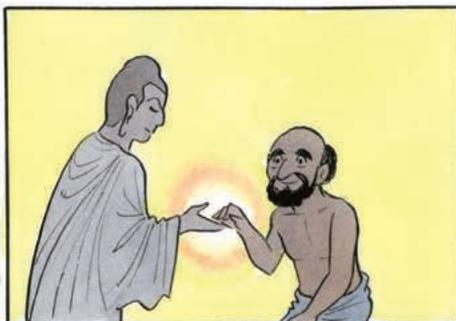
男は頭の毛を一本
抜き取りその毛の端に
一滴の水を湿らせて
釈尊の前に差し出した

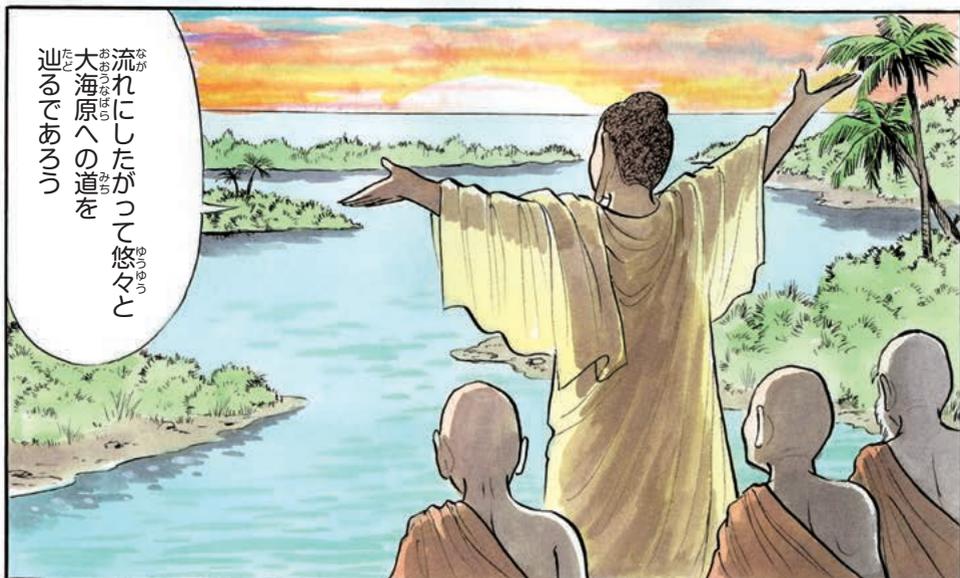


つきましては
この水滴を保管して
いたたく上でなまなまな
注意点がござります



どうぞ





あの一滴の水はこの世の滅亡する時がきてもこの大海にあり増えも減りもしないのだ

大海

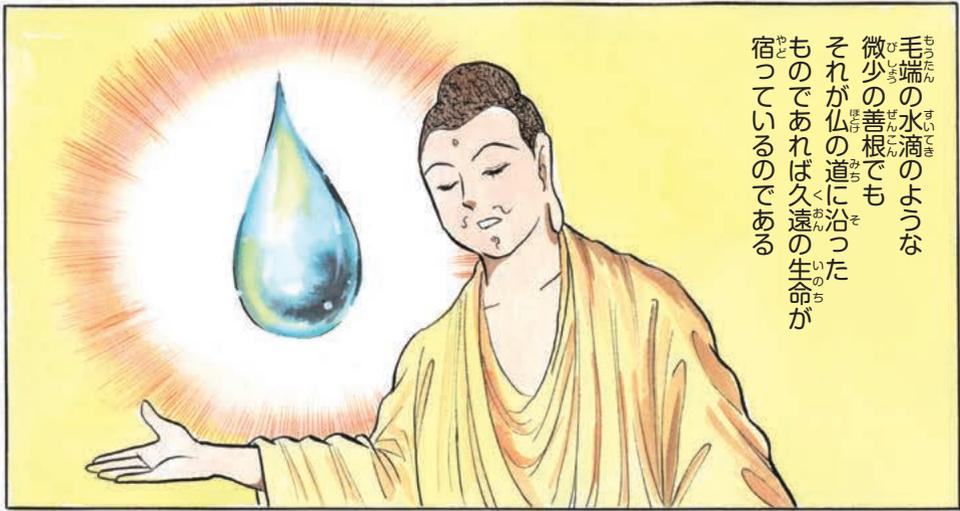
毛端

水滴

寄付主

ガンジス河

毛端は心
一滴の水は善根となる小さな功德
ガンジス河は生死の流れ
大海は仏さま
寄付主は善行を施し功德を積む人にとえられています



毛端の水滴のような
微少の善根でも
それが仏の道に沿った
ものであれば久遠の生命が
宿っているのである



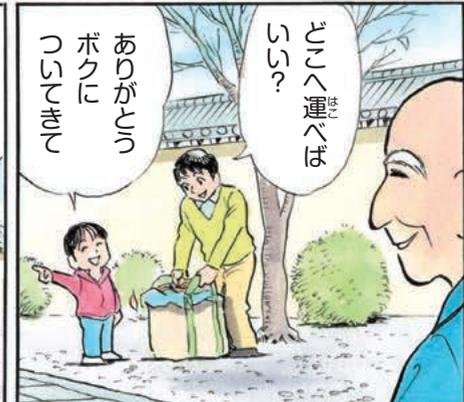
たとえ小さな善行でも
それが仏さまの御心に
適っていれば
その功德は因縁として
私達の魂の中に
宿っているのです

だから生きています
今善行を積んで
善い因縁を
作らなければ
なりません



今善いことができる人は
そつやこつ
過去世から善行を
積んできた人達って
ことなんですね

そつ そのお陰で
また善いことが
できるゆつこ
なるのです



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により
尊い命を失われた方々に深く哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

また罹患された方々におかれましては、
一日も早いご回復をお祈りいたしますとともに、
心よりお見舞い申し上げます。

法音寺・除災の祈り お題目写経ご協力のお願ひ

一人ひとりが心を込めてお題目を書写し
真心を結集して新型コロナウイルスを成仏させましょう

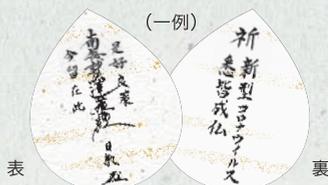
お題目写経 参加方法

- 1 写経用紙(B5判)は、本部・支院・布教所でお求めください。
1枚につき100円のご供養をお願いします。
- 2 心を込めて書写しましょう。家族・親戚・友人・
知人・縁ある方にもお勧めください。(代筆可)
- 3 書写したお題目を各支院・布教所に
ご提出ください。

コロナが
終息するまで
引き続きご祈念
いたします。
皆さまも引き続き
ご参加ください。

山首上人さまが皆さまのお題目と共にご祈念くださいます。

お題目写経にご協力いただいた方には、
除災難散華(限定デザイン)を
お贈りいたします。



※お問い合わせは各支院・布教所まで

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと⑮

施設の子ども達

戦災孤児は、親と離ればなれになり、その後再会を果たせない子だけではありませんでした。当時は誰もが自分のことで精一杯。親が身体をこわし、食糧不足から栄養失調になって命を落とせば、誰も面倒をみてくれません。知り合いの家に一時預けられても、関係が悪くなれば出て行くことになり、そのまま浮浪児となるしかありませんでした。そういう子ども達に救いの手を差し伸べ、親代わりになったのが修一郎（後の御開山上人）でした。

幼くして親しい人の死を見てきた子ども達が駒方寮や名古屋養育院にはたくさんいまし

た。中には大切な人の死に対して自分にできることをずっと考えている子もいました。

小遣いを倅約して、一生懸命に貯金している女の子がいました。

「どうしたの？何かほしいものがあるの？」と祖母さんが尋ねても答えません。

その子がある日、

「お父さんとお母さんを買ってくる」と言って、外へ飛び出していきました。

祖母さんが心配していると、その子は夕方に位牌を二つ、胸にしっかりと抱えて帰ってきたといいます。当時、施設にはそんなドラマが数々ありました。

修一郎は、どの子に対しても分け隔てなく、わが子同然に接しました。

「この人はどうして自分にこんなに優しくしてくれるのだろうか」

「これまで自分の周りにいるのは敵ばかりと思っていたが、世の中には俺達みたいな浮浪児のために心を配ってくれる人もいるのか…」



当初は驚き、とまどった子ども達も次第に落ち着いてきたといえます。

修一郎は子ども達の心を明るくしようと手を尽くし、月に一度の誕生会をはじめ、紙芝居・映画の上演、運動会や野球大会をして子ども達を楽しませました。

次第に心を開いていく子ども達の中に、まったく感情を表さない女の子がいました。周囲の大人達は、どうすればいいのか、と思案に暮れていました。

そんな時、あるグループが慰問に来て、演奏会を開いてくれました。演奏がたけなわの頃、その女の子は隣に座っていた修一郎の腕に突然すがりつきました。





「どうしたのかね？」と尋ねる修一郎に、

「わたし、お父さんと村祭りに行った時のことを思い出したの」と答えるその子のほおには、いく筋もの涙が流れていました。

「音楽は子どもの心を開くのだ…」

以来、修一郎は知り合いを駆け回っているいろいろな楽器をかき集め、子ども達に演奏を教え、音楽会を開いたのでした。

中には里子として新しい両親に引き取られていく子も

いましたが、多くは義務教育を終えると見習いで働きに出ていきました。

「つらかったら、いつでも帰っておいで」

修一郎の温かいぬくもりを胸に、子ども達は寮を巣立っていくのでした。

参考文献



御開山上人伝
『泰山』第三話





お寺の本棚



『大白牛車』 (十)

人知れず植える徳

『惜徳・施徳・植徳』という言葉があります。

惜徳（せきとく）とは、徳を惜しむということですが、つまりは、いかげんな使い方をしないということ。杉山先生の言われます、暴飲・暴食、あるいは夜ふかしなどは、徳の無駄遣いと言えるでしょう。せっかくだいたいだいた身体という徳を悪くなるように使っているからです。そのような使い方をしているならば、せっかくの徳がだんだん減ってしまいます。どんなに身体の丈夫な人でも、どこか弱いところがあります。それが原因で必ず病気になるという過言ではありません。

これは肉体に限ったことではありません。才能も能力ももちろんそうですし、お金にも言えることです。無駄遣いばかりしていれば、いくらたくさんあってもなくなってしまうし、自分を苦しめるものになります。

自分に与わったもの、身体というならば、いたわり、お金でいうならば、大切に使う、それが惜徳であります。





施徳（せとく）は施し、つまり、慈悲であります。自分のもつ能力、あるいは身体という徳を、自分だけのために使うのではなく、これを充分活用して人の幸せの手助けをしてゆくことが施徳であり、その行為がさらに、自分の持つ徳を増やしてゆくことになるのです。自分のできることで人を力づけ、人の幸せをまず先に願ってゆくことです。

ここで大切なことは、あくまでも「喜んでする」ということです。いやいや施しをするとか、「施したのに全然お礼を言わない」と後で怒っているような施しは、本当の施しではありません。せっかくの施しが一切徳にはなりませんから、よく心していただきたいものであります。

次の植徳（しょくとく）、これが一番大切であります。「徳を植える」ということです。木を植えることに置きかえてみましょう。人間の一生は長いようで短いものです。植えた木が自分の一生の間に育ち、利用できるかどうかわかりません。しかしその木も、いずれ大きくなり、後の世の人に役立つようになります。大きな木陰を作り、人々に憩いの場を与えるかもしれません。あるいは、その木で役立つ物が作られるかもしれません。

自分が生きている一生の間には何も恩恵は受けなくても、後に続く人のためにしておく、あるいは、今は誰もお礼を言わなくても、そのようなことにはとらわれないで施しをしてゆく、つまり、陰徳を積んでゆくことであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

のりのね体験

御法に救われた日々

上野支院 大野 利枝

私は61歳の時、脳幹出血で倒れました。身体は不自由なく動き、言葉も喋れたのは幸いなことでしたが、食欲がなく、両手は点滴につながれている状態でした。

犬飼上人ご夫妻には「病気は修行を与えていただいたのだから喜んで受け入れること」と教えられていましたが、なかなかの苦行で、頭痛に襲われるたびにお題目に助けをただきながら過ごしていました。

そうこうするうちに、ある日、何でも二重に見えていた目の焦点が合うようになり、視力も0・6まで回復してきたのです。食欲も戻ってきた私に、医師は「手術は不要な

ようです。退院して経過観察しましょう」と言いました。

その頃、各地でボランティアガイドが盛んになり、退院した私は、ボランティアをしたい〴〵と思うようになりました。

〴〵これは仏さまが私に合う仕事を選んでくださったのだ。仏さまが背中を押してくださっているのだ〴〵と思いました。

その後、リハビリは順調に進み、ガイドの仕事を始めることができました。以後、伊賀の名所や歴史を話し続けて二十年が経過しました。

犬飼上人ご夫妻には、いつも「妙法は、〴〵妙なる法〴〵ですよ。実行すればわかります。ありがたいことばかりですよ」と教えられてきました。



中には乱暴なお客さまや、お酒が入ってからんでくる方もおられましたが、慈悲・至誠・堪忍の教えを守りながら切り抜けてきました。逆に私が名称を度忘れして困っていき、まずと、代わりに解説して助けてくださるお客さまもいらっしゃいました。その時は、私も慌てて、「ガイドをタッチします」とマイクをそのお客さまに渡し、その間にほめ言葉を考えました。

「すばらしい解説ですね。ありがとうございます。そのままマイクをお願いしたいくらいです」と。

ガイドとして働いた年月、さまざまなことを学び、また、御法によっていろいろな局面で救っていただきました。今振り返ると、とてもありがたい年月でした。

ひろば

福祉の



SINCE 1912
SHOTOKUKAI



幸せのお手伝い

忘れられない虐待されていた 女の子との出会い

保育士になって11年。これまで本当に多くの子ども達、その家族との出会いがありました。その中でも、私がいちばん忘れられないのは4年目に出会った一人の女の子です。そこで、私は初めて「虐待」というものを目の当たりにしました。それまでも虐待について学ぶ機会はあったのですが、それが現実となって起こったとき、どうすればいいのかわからなくなり、冷静ではいられなくなっ

保育とは、

命を預かり命を守る仕事



たことを今でもよく覚えています。虐待が発覚した日から欠かさず行った身体チェック。毎日毎日続けているうちに、どうしてこんなことになってしまったんだろう…。私は何の力にもなってあげられない…。という悲しさと悔しさから、感情がぐちゃぐちゃになり、仕事中に初めて涙を流し

ました。後にも先にも、職場で涙を流したのはこの一日だけです。保育とは、命を預かり命を守る仕事だということを身をもって実感し、責任の重さを改めて感じました。

このような出来事はもちろん良い方がありますが、子どもを守るために強い気持ちで、

「ダメなものダメ」と保護者に伝えていくためにも、保育者が感情移入せず冷静に対応していかなければいけないことを知りました。そして、

「このような悲しい出来事を繰り返さないためには、子ども一人ひとりをよく観察し、SOSを見逃さず、家族と密にコミュニケーションをとる中で些細な変化に気づけるようにしていかなければ」と強く思いました。まだ4年目という若さでこのような経験をしたことで、保育は楽しいことばか

りではなく、子ども一人ひとりの現実をしっかりと見ていく重要性にも気づくことができました。自分自身を大きく成長させてくれたこの経験を無駄にしないよう、この時に学んだことや感じたことを決して忘れず、これからも子ども達と過ごしていきたいと思えます。

天王保育園 グループリーダー（保育士） 中平 麻友



「お店屋さんごっこ」



光徳保育園

～子ども大人もワクワク!光徳保育園にどらやき屋さんがやってきた!～

写真提供・昭徳会

光徳保育園では、食育活動の一環として「食」を通じてさまざまな取り組みを行っています。お店屋さんごっこの始まりは市販のお菓子を袋に詰め替えて子ども達に渡すというささやかなものでしたが、毎年少しずつ変化し、調理員が調理したものを販売する形となり、今では子ども達が楽しみにしている行事のひとつになっています。

今年のお店屋さんごっこのメニューは「どらやき」です。メニューが決まるとお店屋さん各クラスにチラシを配りに行きます。どらやきは、あんこ味・りんご味・バナナ味・さつまいも味から自分の好きな味を選べます。「お店屋さん」というだけあって「ただ」ではどらやきは手に入りません。どらやき一枚10円です。なわとびの回数が幼児組全体で2400回達成したら、みんなでどらやきを買に行けることになり、子ども達は目標を達成するためにみんなで力を合わせるようになりました。

お店屋さんごっこの当日！。

まずは乳児組用のどらやきを焼き始めます。実は



お店屋さんごっこでどらやきを焼くのは今回が初めて。そのため保育士も調理員も少し緊張気味でしたが、何枚か焼くころには慣れた手つきになり本物のどらやき屋さんのように。会場のホットケーキの匂いに誘われてお昼寝から起きた乳児さんが、じっとどらやきを見つめる姿に場も和みます。そうこうしているうちに見事目標を達成した幼児組の登場です。幼児組は異年齢でグループを作り、お兄さん、お姉さんが年下の子を連れてお金を持ってどらやきを買いにきました。もじもじする年下の子の前で、

「どらやきくーださい」
と、ひまわり組のお兄さんが元気いっぱいと言っていると、
「いらっしゃいませ。1個10円です」
子どもはちよっぴり緊張しながらお金を出しま

す。

「何味にしますか？」

「あんこ味！」

「はい、どうぞ。熱いから気をつけてね。ありがとうございました」

出来立てのどらやき

をうれしそうにもらい、友達と一緒にカフェ風に演出された椅子に座ってどらやきを食べ始める子ども達。

「おいしい？」

「うん。あったかくておいしい。おかわり食べたい」

声を掛けた子ども達のおいしそうなお顔、うれしそうな笑顔を見るとほっこりとした温かな気持ちになりました。午後2時から開店したお店屋さんさんが焼いたどらやきは200枚以上。その日はずっとどらやきの良い匂いがしていました。



光徳保育園 調理員 田口 記恵

「認知症啓発プロジェクト」～オンラインで活動展開～

日本福祉大学社会福祉学部

社会福祉学部では、2年生を対象に「フィールド実践演習」というゼミ形式の科目を開講しています。さまざまな課題を座学で学ぶことにとどまらず、課題解決に向けて、地域や社会でどのような実践をしていくべきなのか、学生達で考え、企画を構想し、成果を発信していくことをねらいとしています。

その中のゼミの一つが「認知症啓発プロジェクト」(指導教員・斉藤雅茂准教授)です。

認知症の予防とともに、「認知症にやさしい地域」をどう実現していくのかは、保健・医療・福祉実践の重要な課題となっています。そのためには、子ども達や若者も含めて、認知症について正しく理解し、認知症の人と家族が抱えている課題を



にっぶくにこここカルタ

写真提供・日本福祉大学

社会全体で共有していく必要があります。ゼミではこれまでに啓発のためにクイズやゲーム、紙芝居などを作成し、地域のイベントなどに参加して、その成果を発表してきました。その一つ『にっぶくにこここカルタ』(2017年度)は、テレビや新聞でも大きく取り上げられ、話題となりました。

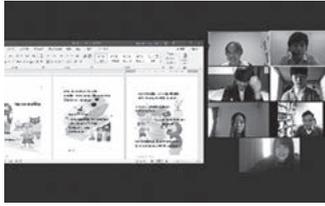
今年度のプロジェクトでは、コロナ禍で家にいてもパソコンやタブレットで気軽に見ることができるようものとして、デジタル絵本『そばにいるよ』とシミュレーションゲーム『日はまた昇る』が作成されました。学生達は対面授業が制限される中、オンラインで打ち合わせを重ね、完成にこぎつけました。

デジタル絵本、ゲームはどちらも大学HPからご覧いただけます。
<https://www.n.fukushi.ac.jp/rpj/project/shien/index.html>

作成した学生達の言葉を紹介させていただきます。



「そばにいるよ」表紙画面



「そばにいるよ」打ち合わせの様子

【デジタル絵本「そばにいるよ」】

私は小学校の低学年層にターゲットを絞り、比較的理解が簡単だと思われる絵本を啓発材料に選び、活動を行うことにしました。絵は水彩画タッチの柔らかいものにして、あえて認知症という言葉を使わず、理解しやすいものに工夫しました。当初は読み聞かせも考えていましたが、コロナ禍で断念せざるを得ませんでした。しかし、場所を問わず読んでいただけるように、絵本をデジタル化し大学のHPで公開することで、より多くの人への発信に努めています。この絵本が、認知症の人に優しく寄り添えるきっかけになればいいと考えています。

【シミュレーションゲーム「日はまた昇る」】

私は「認知症について知る機会を作る」「子どもと大人、両方が楽しめる」という2つのコンセプトのもと

で、このゲームを制作しました。そのため専門用語等のむずかしい表現は避けて、子どもでもプレイできるようにしました。ゲームでは認知症の方が登場し、どのように対応していくのがよいのか、主人公として対応方法を選択し、その選択によって良い事例、悪い事例に物語の結末が変化していくようになっていきます。今後さらにバージョンアップしていく予定です。認知症を身近に感じてもらえるきっかけになるといいと考えています。



「日はまた昇る」プレイ画面

学生達が作成したものはそれぞれ種類が異なりますが、年齢を問わず、できるだけ多くの方々々に認知症を理解してほしいという思いは共通し、学生ならではの柔軟で若い感性にあふれています。学生達のオンラインでの積極的な活動展開を、これからも応援していきたいと考えています。

学園広報室 七原 剛義

幸せの種まき 慈悲

苦しいことがあるからこそ
良い教えが耳に入り
良い悟りを得られるのです

苦しい修行がなければ
仏にはなれません
今日を喜びましょう

大乗山 法音寺

編集後記

私達は法音寺で「自分にとって不都合な事態は、仏さまから与えられる課題」と教えられてきました。「仏さまは私達を成長させるのが目的なので、決して乗り越えられない課題はお与えにならないはず。それゆえ不都合な時は、仏さまから堪忍を試されている」と捉え、感情を抑え、愚痴不足を口にせず、徳積みを中心掛けなさい」と。

今月号では、鈴木廣修上人の「一緒におつとめ」と題した動画更新のお知らせを掲載いたしました。(18頁参照) コロナ禍の中、お寺に來ることができない方に、少しでもお寺にふれていただくよう。お経を聞いていただくよう。そして皆さん一緒に唱えましょう。という思いが伝わります。今後はリモートでお寺に接触する機会が増えたらと期待したいと思います。そんな希望が感じられるようになったのは、やはり目の前に立ちほだかったコロナ禍という大きな「不都合」を伴う課題のお陰かもしれません。仏さまから与えられた課題を乗り越えた先に、本当の幸せへの道が開くのは、法音寺の歴史をみれば明らかです。病気や災難も喜びましょう。という先師の声が聞こえてくるようです。



ありがとうが言えない

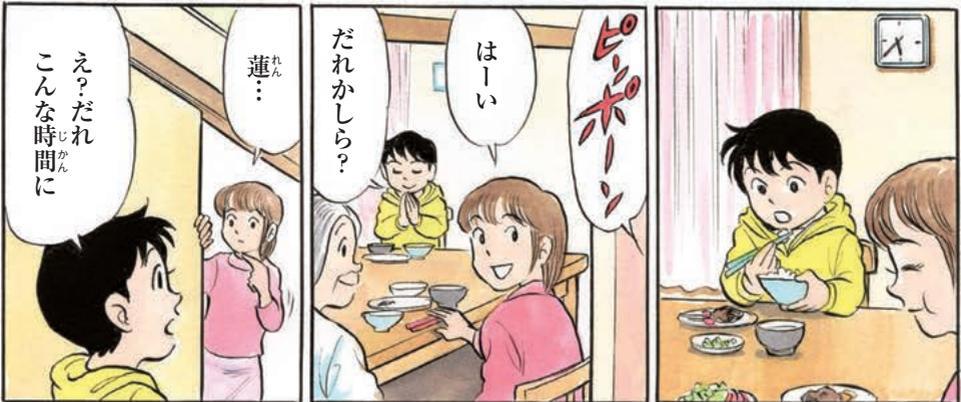
竹中 淳











れ 蓮くんいつも
親切にしてくれて
ありがとう

ハハ

え 守くん
どうしたの？

ごめん：
こんな時間に

どうしても今すぐ
蓮くんと
タケルくん
お礼を言いたくて

タケルくんの家
知ってるよね

え
今から？

あしなごう
明日学校で
会えるじゃない

いや今が
いいんだ

わかっ
た：

姉ちゃん
ちよつと
出てくるよ

いつもの守くんじゃ
ないみたいだけど
何かあったの？

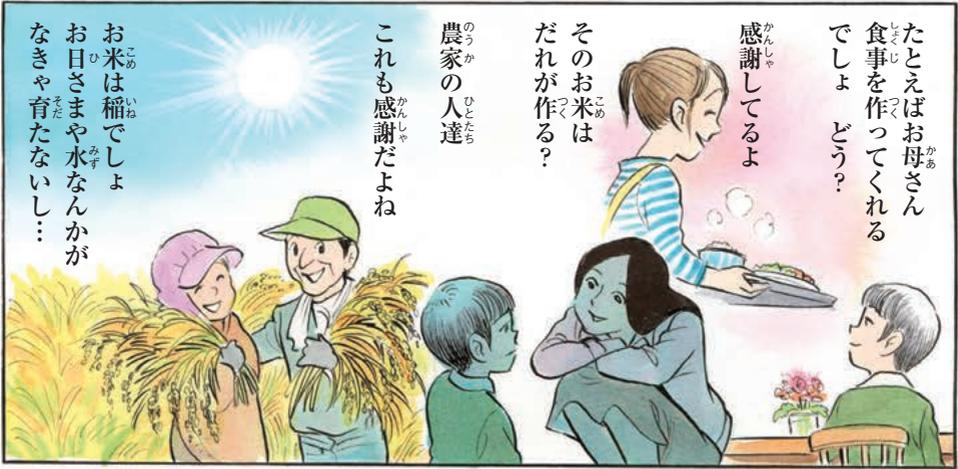
きょう
今日 学校でね

まもる
守くんは人見知り
するのかな

…はい…
緊張して…

ではこうしたら
どうかしら

まいにちせいかつ
キミが毎日生活
している中で
感謝したいことをみつけるの



たとえばお母さん
食事を作ってくれる
でしょ どう？

感謝してるよ

そのお米は
だれが作る？

農家の
人達

これも感謝だよ

お米は稲でしょ
お日さまや水なんか
なきや育たないし…



ホラ
これだけでも守くんが
感謝したい人やものじゃ
ないかしら

感謝したいものが
みつければ
幸せな気持ちに
なって
その思いを伝えたく
なるものよ



ありがとう…って

それでボク
家に帰って
考えてみたんだ

そうしたら…



一番に蓮くんと
タケルくんの顔が
浮かんだんだ



そうしたら
いても立っても
いらなくて…



今すぐ蓮くんと
タケルくんに
ありがとうを
言いたくなって
来ちゃった

へえ 先生と
そんな話を
してたんだ…



そりや驚くよ
今までの守くんと
違うんだもん



こっちだよ
こんな時間に
…タケルくん
驚くかな？

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

